

第9回 山口国際交流芸術祭

2011ヨーロッパ芸術祭 「ドイツ特集」 2011年7月

CONCERT

西洋音楽発祥の地山口

ドイツ特集コンサート

山口県立大学吹奏楽 BLAZE 指揮：岩崎隆司
山口大学管弦楽団・防府弦楽合奏団、山口国際交流芸術祭合唱団
ヴァイオリン：潮田孝子 指揮：清水宏之

7月9日(土) 16:00~18:00

会場/山口県立大学講堂(桜園会館)

[前売料金] 一般¥1,000、大学生以下¥500 ※当日は共に¥200増

◎コンサート内容

〈1部〉山口県立大学吹奏楽 BLAZE
ドイツ曲メドレー

〈2部〉ヴァイオリン&オーケストラ
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調
ヴァイオリン：潮田孝子

〈3部〉コーラス&オーケストラ
ワーグナー：歌劇「ローエングリン」から 結婚行進曲
ブラームス：「ドイツレクイエム」から
1楽章「悲しんでいる人は幸いである」
7楽章「今から後、主によって死ぬ人は・・・」



CINEMA

映画上映 山口国際交流芸術祭&西京シネクラブ7月例会*共同主催

白いリボン

2009年カンヌ国際映画祭〈パルムドール大賞〉受賞
他 世界の映画賞 32部門受賞、54部門ノミネート
監督・脚本：ミハエル・ハネケ(『ピアニスト』『隠された記憶』)



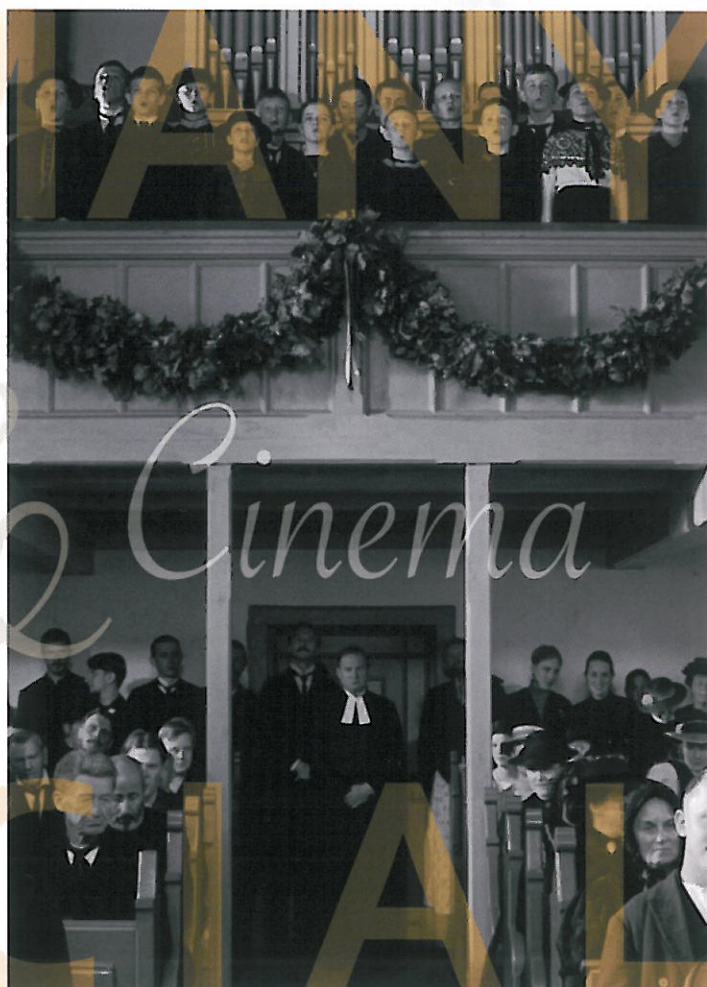
7月23日(土) ①10:30~ ②14:00~ ③19:00~

会場/山口県教育会館(山口市大手町2-18)

[前売料金] 一般¥1,500、大学生以下¥1,000 ※当日は共に¥300増

カンヌ国際映画祭でパルムドール大賞(最高賞)を受賞し、恐るべき作家と評価されるミハエル・ハネケの集大成的作品。
舞台は、第一次世界大戦前夜の北ドイツの小さな村。大地主の男爵を中心に、人々が静かに暮らすプロテスタントの村を、数々の奇妙な事故が襲う・・・。
日本で昨年末に公開、現在も上映が続いている話題作を上映します。

2009/ドイツ・オーストリア・フランス・イタリア合作、
ドイツ映画/ドイツ語/モノクロ/2時間24分
[日独交流150周年]ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ連邦共和国
総領事館 後援作品



主催：第9回 山口国際交流芸術祭実行委員会

事務局(お問合せ・電話予約) / 実行委員会 TEL&FAX083-902-7100 西京シネクラブ TEL083-928-2688 FAX083-928-2689

詳しくは裏面をご覧ください▶▶▶

2011ヨーロッパ芸術祭「ドイツ特集」

山口国際交流芸術祭は、山口県内のヨーロッパ関係の国際交流団体（山口EU協会、日独協会、日英協会、ナバラの会、日本フィンランド協会、日仏協会）等が共同で開催し、ヨーロッパの文化、芸術を紹介しています。第9回は、ドイツを特集しました。

本年は、1861年日本とドイツ（当時の北プロイセン）との間で友好通商航海条約を調印し、「日独交流150周年」を迎えました。ドイツは、日本にとって明治以来多くの影響を及ぼすと共に、文化芸術にも重要な役割を果たしてきました。

この意義深い節目の年にドイツを特集し、ドイツの芸術文化を紹介します。

EVENT #01 西洋音楽発祥の地山口

ドイツ特集コンサート

日時：7月9日（土）16：00～18：00
場所：山口県立大学講堂（桜園会館）（山口市桜島3-2-1）

◎コンサート内容

〈1部〉山口県立大学吹奏楽 BLAZE

指揮：岩崎隆司
ドイツ曲メドレー

〈2部〉ヴァイオリン&オーケストラ

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調
ヴァイオリン：潮田孝子

〈3部〉コーラス&オーケストラ

ワーグナー：歌劇「ローエングリン」から 結婚行進曲
ブラームス：「ドイツレクイエム」から
1楽章「悲しんでいる人は幸いである」
7楽章「今から後、主にあって死ぬ人は・・・」

山口大学管弦楽団・防府弦楽合奏団、山口国際交流芸術祭合唱団

指揮：清水宏之



◎潮田孝子プロフィール／山口市出身。山口大学教育学部附属山口中学校、山口県立山口中央高校を卒業。愛知県立芸術大学音楽学部を経て同大学大学院を首席で修了。大学院在学中に広島交響楽団に入団。第44回全日本学生音楽コンクール福岡大会第2位入賞。イスラエルで開催されたKeshet Eilon音楽祭に奨学金を得て参加した他、アフィニス夏の音楽祭、防府音楽祭等に出演。これまでに故・石井洋之助、石井志都子、十川真弓、福本泰之、岡山芳子、M・ヴァイマン、岡山潔、E・ダネルの各氏に師事。現在、広島交響楽団団員、「カンマーフィルハーモニーひろしま」メンバー。室内楽奏者、ソリストとしても高い評価を得ている。



◎清水宏之プロフィール／1980年15歳で渡米、指揮をエール大学大学院においてはE.カルヴァロ氏に、その後G.ヘルビッヒ氏、A.プレヴィン氏に師事。1994年ルーマニア第4回デイス・ニクレスク国際指揮者コンクール優勝、その他国際指揮者コンクールに入賞。アメリカ、ブラジル、ドイツ等で指揮活動を行い、帰国後は、日本各地でオーケストラ、合唱団等を指揮している。第3回（2005年）から山口国際交流芸術祭コンサートを指揮、指導している。

	一般	大学生以下
前 売	¥1,000	¥500
当 日	¥1,200	¥700

EVENT #02 映画上映（山口国際交流芸術祭&西京シネクラブ7月例会*共同主催）

白いリボン

日時：7月23日（土）①10：30～②14：00～③19：00～
場所：山口県教育会館（山口市大手町2-18）

美しい村 静かな暮らし
聴こえてくる魔物の足音…

第62回カンヌ国際映画祭（パルムドール大賞）
ゴールデン・グローブ賞（外国語映画賞）
ドイツ映画賞（ドイツ・アカデミー賞）10部門受賞
〈作品賞〉〈脚本賞〉〈監督賞〉

はじまりはドクターの落馬事故だった。1917年7月、第一次世界大戦前夜の北ドイツ。大地主の男爵を中心に、人々が静かに暮らすプロテスタントの村で、次々と奇妙な事故が起こり、しだいに村の空気を変えていく。「誰の仕業なのか」皆が不信感を募らせるなか、次第に浮き彫りになっていく村人たちの素顔。敬虔な村に潜む、悪意、暴力、欺瞞の連鎖——疑心暗鬼の村人たち、そして苦しむ子供たち。少年の腕に巻かれた白いリボンは「純真で無垢な心」を守れるのだろうか。やがて村には、新しい時代の足音が迫っていた・・・。「人間とは何か」ある村の不穏な1年を濃密に描いた「白いリボン」は、かつて子供だった私たち全員に痛烈に問いかけてくる。後にナチとなった子供たちが暮らした時代、そのあまりに美しい風景が、「悪」を浮き上がらせて迫る傑作。

「ナチズムへの予告」(LE MONDE 紙)、「人間の本性を覗く 試み」(THE TIMES 紙)、「我々の未来の予告」(THE GUARDIAN 紙)—— 過去からきた物語が、現代社会への警鐘を打ち鳴らす。

監督・脚本：ミヒャエル・ハネケ（『ピアニスト』『隠された記憶』）
2009/ドイツ・オーストリア・フランス・イタリア合作、ドイツ映画/ドイツ語/モノクロ/2時間24分
[日独交流150周年] ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ連邦共和国総領事館 後援作品

	1回目	2回目	3回目	一般	大学生以下
前 売 (電話予約)	10:30～	14:00～	19:00～	¥1,500	¥1,000
当 日				¥1,800	¥1,300

前売券は、下記の取扱先・プレイガイド、または電話予約で購入できます。ご予約は、実行委員会、または西京シネクラブへ。電話・ファックス予約の場合は、当日会場にてチケットと代金の引き換えとなります。

前売券取扱

チケット取扱先／山口市市民会館、山口情報芸術センター、C.S赤れんが、防府アスピラート、周南市文化会館、西京シネクラブ、山口映画友の会

プレイガイド／山口市（山口十字堂楽器店、カワイ楽器店、三好屋、山口井筒屋）、宇部市（宇部井筒屋）

- 主催 第9回 山口国際交流芸術祭実行委員会
- 共催 (財)山口県国際交流協会、山口EU協会、山口日独協会、山口日英協会、山口ナバラの会、山口日本フィンランド協会、山口日仏協会、西京シネクラブ、山口映画友の会
- 助成 山口メセナ倶楽部 ●山口市民活動促進事業の支援を受けています。
- 後援 山口県、山口県教育委員会、公立大学法人 山口県立大学、山口市、山口市教育委員会、ドイツ連邦共和国総領事館
- 映画の部は、西京シネクラブと共同主催

